

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 2月 20日

事業所名 放課後等デイサービスピリブ笹原

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定数については、指導訓練室などのスペースは十分に確保できている。1号館、2号館が隣接し、定員に合わせて利用者の分散化を図っている。	
	2 職員の配置数は適切である	○		配置基準十一名以上(常勤換算)の加算の職員配置をするとともに、それ以上の人員を配置している。また送迎時には違反とならないように、複数子どもが乗車する際は、確実に職員も複数乗車するようにしている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	肢体不自由児がいるため、安全に活動できるよう声かけ、見守りをしている。転倒時の衝撃を和らげるため、段差や床にはマットを敷く等の工夫をしている。	民家を借りているため、大規模な改装工事は難しいが、マットを敷くなど出来る限り段差を無くすように工夫をしている。また、現在車イス利用等の子どもはいないが、必要に応じて、援助や声掛け、注意書きの設置などを行いサポート体制を強化している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		会議を定期的に行い、振り返りや改善点などを話し合い、記録に残している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年実施している。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討していく。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間の研修計画に沿って、定期的に研修を行っている。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年に一度、定期的に聞き取りを行い、計画を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所共通のアセスメントシートを利用している。成長や進捗に伴い、内容が変わるため、適宜取り直すようにしている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		予約表の作成時に、在籍する子どもの成長や課題に合わせて、チーム内で話し合い検討している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ニーズに合わせて、新しいイベントも取り入れていくようにしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日は、学校終了後ということもあり、室内でできる活動プログラムにしている。長期休暇や休日は、外出や社会科見学、料理など様々な経験が積めるようにしている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		日々の様子の見守りや家庭との連携の上、ニーズを把握し、個別活動と集団活動を計画している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援業務前、朝と昼の二回のミーティングで、情報共有と確認を行っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		その日の出来事や申し送り事項について共有している。	
関係機関や保護者との連携	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		業務日報や連絡帳等で記録している。また、トラブルや個別にやり取りや対応した際には、別途記録に残している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度以上、定期的にモニタリングをしている。見直しが必要な場合は、計画を変更し作成している。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		課題やニーズに合わせて、活動・支援を組み立てている。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		自発管や必要に応じて、他の職員も参画している。また、会議前には職員間で話し合い、意見を持ちよっている。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時や電話などで、担任の先生等と情報共有をしている。気になることがある際は、相互に連絡を取り合い、連携して支援を行っている。また、下校時間は時間割を見る等して確認している。下校時間に変更がある場合は、情報共有してもらっている。学校にもよるが、月間カレンダーを作り、利用する子の把握を学校側にもしてもらっている。	
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、対象児はいないが、必要に応じて体制を整えていく。	
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		必要に応じて情報共有していく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在までに、対象児はいない。今後、卒業を控えた児童がいるため、連携していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて情報共有、連携をしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		今後検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		研修会やネットワーク会議へ参加している。また、基幹相談支援センターと連携して支援を行うことがある。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳でやり取りしている。また、必要に応じて電話などで情報共有も行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている		○	相談を受けた際は、家族と連携し、課題解決に向け、支援している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に全員に、書面とあわせて説明を行っている。変更があった場合、適宜お知らせしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		悩みに対する相談は、その都度対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			コロナ禍で開催が難しい状況だが、例年行っていた。コロナ禍以降、実施できていないが、感染症が落ち着いたら、懇談会や交流会など実施していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった場合、しっかり受け止め、早期解決するよう話し合っている。苦情に関しては担当者や管理者に報告し、管理者が最終的な判断や対応を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動の様子は写真を配布したり、ホームページのブログにて報告している。行事予定や活動内容の詳細については、書面にて配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		書類や写真など、外部に出ないよう厳重に管理している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		口頭のやり取りだけでなく、必要に応じて視覚的なツールを使用する等している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後、検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種、マニュアルを策定し、保護者、職員に周知している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		様々な想定での、避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的な研修を行っている。また、虐待防止委員会を設置している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束についての研修を行っている。現在、対象児はいないが、必要な場合は検討していく。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーがある場合、保護者から内容等をしっかり確認し、対応している。クッキングなどで食物を使用する際は、保護者や職員間で確認を十分に行っている。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		管理者に報告の上、ヒヤリハットノートを作成し、職員間で共有している。		